第41回 日本環境感染学会総会・学術集会 出展レポート

はじめに

弊社は2026年7月9日（木）～11日（土）にパシフィコ横浜にて開催された「第41回日本環境感染学会総会・学術集会」に出展しました。ホスピタリティスペースの会場では、「感染管理業務IT・DX研究会 ～ManGo感染管理版ユーザー交流会～」、「会場特別版 感染対策をカジュアルに語る会」、「手指衛生のタイミング ミニミニトレーニング」の3つのイベントを実施しました。また、ミニコーナーも設け、多くの学会参加者にお立ち寄りいただきました。ご来場いただいた皆様、ならびに開催にご協力いただいた関係者の皆様に、心より御礼申し上げます。本号では、会期中の様子の一部をご紹介します。

イベント

1.感染管理業務IT・DX研究会 ～ManGo感染管理版 ユーザー交流会～

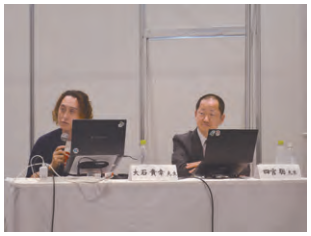
開催日時	7月10日（金）15：30～17：00
司会	大石 貴幸 先生　済生会横浜市東部病院 感染管理対策室 副室長 四宮 聡 先生　医療法人協和会 法人感染対策委員会 副委員長 感染管理認定看護師
基調講演	“頑張る感染対策”から“仕組みで回る感染対策”へ ―ICT業務のIT化・DX化を考える―　演者：四宮 聡 先生
事例紹介	ManGo感染管理版 導入事例 事例① 野瀬 正樹 先生　医療法人協和会 箕面市立病院 感染制御部 感染管理認定看護師 事例② 池田 智 先生　社会福祉法人やすぎ福祉会 特別養護老人ホームしらさぎ苑 感染症管理者 主任看護師
ディスカッション	登壇者と参加者との意見交換

弊社では、2025年より感染対策マネジメントシステム「ManGo」を発売しています。この度、「ManGo」を導入いただいている、もしくは導入を検討中のご施設の方を対象に、「ManGo感染管理版 ユーザー交流会」を開催しました。

本会では、四宮先生よりIT化・DX化に関する最新の知見やポイントについてご講演いただきました。さらに、導入施設による活用事例の紹介では、運用の工夫や導入後の効果、現場での課題など、実践に基づいた取り組みが共有されました。また、ご登壇の先生方と導入施設の参加者、今後導入を検討されている参加者が直接意見交換を行い、「ManGo」の活用方法や感染管理業務におけるIT化・DX化について、情報交換が行われました。参加者同士の交流も図られ、今後のつながりを広げる機会となりました。

●参加者の声（抜粋）

- 実際の活用（メリット・デメリット）について知ることができた
- 四宮先生の「業務に対しての活用」や「将来的な展望」が参考になった



司会：大石先生、四宮先生



会場全体の様子

- DX化にシフトしていくことの必要性を考えさせられるきっかけになった
- 業務内容が増えているのに人員は減っているため、有効活用していければいいと思った
- 自分がITやDXについていけるかどうか不安に思う

●耳寄り情報！

2027年に「第2回 感染管理業務IT・DX研究会 ～ManGo感染管理版 ユーザー交流会～」の開催を予定しています。

開催日については現在調整中のため、決定次第ご案内します。

IT化・DX化にご興味をお持ちの方や「ManGo」の導入をご検討中の方は、ぜひこの機会にご参加ください（参加費無料）。

「ManGo」の
詳しい情報はコチラから▶

2.会場特別版 感染対策をカジュアルに語る会

開催日時	7月11日（土）10：30～11：30
世話人	椎木 創一 先生　沖縄県立中部病院 感染症内科 部長 本田 仁 先生　藤田医科大学医学部 微生物学講座 感染症科 臨床教授 坂本 史衣 先生　医療法人社団明芳会 板橋中央総合病院 院長補佐
話題提供	手指衛生の取り組み ～行動変容と現場定着の工夫～
ゲストスピーカー	NHO栃木医療センター 山口 禎夫 先生　ICT・臨床研究部・小児科部長・感染アレルギー科医長 丸山 沙緒里 先生　ICT・感染管理特定認定看護師 髙嶋 瑠美子 先生　ICT・薬剤師 黒岩 ひかり 先生　ICT・臨床検査技師

「感染対策をカジュアルに語る会」は、日頃の感染対策業務で抱えているお悩みや課題について、世話人の先生方やゲスト、参加者の皆様が気軽に意見交換できることを特徴とした会です。通常はWeb上でリアルタイムに開催していますが、今回初めて学会会場での対面形式で開催しました。

「手指衛生の取り組み～行動変容と現場定着の工夫～」をテーマに、手指衛生遵守率向上に向けてどのような取り組みをしたらいいのか、手指消毒剤の適正使用量など、各施設が共通して抱える課題について意見交換が行われ、参加者の皆様は頷きながら熱心に耳を傾けていました。



世話人：左から本田先生、
椎木先生、坂本先生



会場全体の様子

笑いも交えながら終始和やかな雰囲気で進行し、対面ならではの交流が生まれるなど、「カジュアルに語る会」の名にふさわしい貴重な機会となりました。

●参加者の声（抜粋）

- 臨場感があってよかった
- 様々なヒントをいただけた
- 同じ悩みを一緒に考えられた
- 実践に活かしてみたいと感じた
- いつもオンラインで見ている先生方にお会いできてうれしかった

●耳寄り情報！

「第10回 感染対策をカジュアルに語る会」は、2027年春頃の開催（Web）を予定しています。

参加者同士でざっくばらんに意見交換できる場ですので、ぜひお気軽にご参加ください（参加費無料）。

また、ご自身やICT、ご施設全体で抱えている課題を共有・相談したいという方も大歓迎です。

3.手指衛生のタイミング ミニミニトレーニング

サラヤのホームページ「Medical SARAYA Link」で公開中の「手指衛生のタイミング間違い探し動画」を活用し、約20分間の簡易トレーニングを実施しました。

はじめに、弊社スタッフより、WHO「手指衛生の5つのタイミング」などの基本的な考え方について解説しました。その後、バイタルサイン測定時の動画をご覧いただき、「どの場面で手指衛生が必要か」を参加者の皆様に考えていただきました。続いて、グループメンバーで意見交換を行い、最後に、解説動画を視聴しながら適切な手指衛生のタイミングを振り返りました。参加者からは、「自施設の研修でも動画を活用したい」といったご感想を多数いただきました。



トレーニングの様子
（弊社スタッフが解説）



手指衛生のタイミング
間違い探し動画

●参加者の声（抜粋）

- わかりやすい、現場ですぐ使える
- 体験することでイメージがつきやすかった。リンクナースにもすすめたい
- 自身で動画を用いてトレーニング/講習会を実施してみたい
- 早速使います
- ありがとうございました。楽しく勉強できました

●耳寄り情報！

「手指衛生のタイミング間違い探し動画」はサラヤのホームページ「Medical SARAYA Link」でご視聴いただけます。ご施設での研修や勉強会などでご活用ください。

また、今回実施したトレーニングは簡易版でしたが、弊社認定スタッフによる「有償トレーニング（2時間程度）」をご施設にて実施することも可能です。

動画の視聴は
コチラから▶

ミニコーナー

リアル版 みんなのつぶやき

本誌裏表紙でおなじみの「みんなのつぶやき」を、会場でも楽しんでいただけるよう、「リアル版 みんなのつぶやき」を実施しました。一部の色を抜いた「バイキン軍団（黄色ブドウ球菌、レジオネラ属菌）」のボードを用意し、色付き付箋に「つぶやき」を書いて貼っていただくことで、ボードの色を埋めていただきました。日頃の業務で感じていることやサラヤへのメッセージなど、さまざまなつぶやきが集まりました。



リアル版 みんなのつぶやき

●みんなのつぶやき（抜粋）

- 直接観察をはじめるとスタッフがいなくなる（消える）
- サラヤ大好き！
- マスク、手袋などたくさん使っています
- 人に伝えるのって難しい〜うまく伝えて対策すすめたい
- 学会はやっぱり冬がいいなぁ、暑すぎです

※「耳寄り情報」に記載している内容の詳細については、営業担当もしくは本誌裏表紙に掲載している問い合わせ先までご連絡ください。